（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　メリーフィールド坂東			
○保護者評価実施期間	2026　年　1　月　12　日	～	2026　年　1　月　31　日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	28	（回答者数）	23
○従業者評価実施期間	2026　年　1　月　12　日	～	2026　年　1　月　31　日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026　年　2　月　10　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して過ごせる環境づくりができており、保護者の皆さまからも安心して利用できるとの評価をいただいています	日々の清掃や安全確認を丁寧に行い、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境を整えています。また、職員同士で情報共有を行いながら、一人ひとりに合わせた支援を心がけています。	引き続き安全面への配慮を大切にしながら、より安心して過ごせる環境づくりに努めていきます。
2	子ども一人ひとりの特性に合わせた支援を行い、楽しく通所できる環境が整っています。	個別支援計画に基づき、職員間で支援内容を共有しながら、子どもたちの興味や成長に合わせた活動を取り入れています。	職員研修や振り返りを行い、より質の高い支援ができるよう取り組んでいきます。
3	保護者の協力があり連携が取りやすく、相談しやすい関係づくりができています。	日々の連絡や面談を通して子どもの様子を丁寧に共有し、保護者の方の声に耳を傾けることを大切にしています。	今後も情報共有の機会を大切にし、より安心して相談できる体制を整えていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会がまだ十分とは言えない部分があります。	地域活動への参加機会が限られていることが要因と考えています。	地域とのつながりを広げる機会を増やし、交流の場づくりを検討していきます。
2	職員の専門性をさらに高めていく必要があります。	研修機会や専門知識の共有が十分でない部分があります。	研修への参加や職員同士の学び合いを進め、支援の質の向上を目指します。
3	記録の振り返りや業務改善の時間を十分に確保することが課題です。	職員の出退勤時間が異なることや、日々の業務で振り返りの時間が取りにくい状況があります。	今以上に定期的な話し合いの場を設け、支援の見直しと改善を進めていきます。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	メリーフィールド坂東

公表日　2026 年 2 月 10 日

利用児童数　2026 年 2 月 10 日　　回収数　24 / 28

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2			・とても広く確保されていて、満足しています。 ・ボール遊びができるほどの広さがあるようなので、活動スペースは十分確保されていると思う。	ありがとうございます。 今後も安全に配慮しながら、お子様たちの活動スペースの確保に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2			・今でも十分と思えますが、専門的な方が増えると嬉しいなと思います。	ご意見ありがとうございます。 専門性の向上を目指し、職員研修や学習の機会を継続的に設け、より充実した体制づくりに努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1		1	・こどもがいつもきれいと言っています。	引き続き、清潔で安心して過ごすことのできる環境づくりを心がけ、日々の掃除や点検を徹底していきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	23	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	6	2	6	・色々な場所に連れて行ってもらい、経験になります。 ・公園にはよく行っている様子ですが、交流とまでなっているかは不明です。	地域での活動や交流の機会について、可能な範囲で取り入れ、お子様たちの経験の幅を広げることができるよう検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23			1	・事業所に入る前にとても丁寧な説明がありました。	ありがとうございます。 今後も丁寧で分かりやすい説明を心がけ安心してご利用いただくことができるよう努めます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1				

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	4		4	・特にありません。	今後も保護者の皆様のご意見を大切に必要に応じて情報提供や支援の機会づくりを検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1			・日頃から色々と考えていただき、とても嬉しく思います。	引き続き、日々の様子を丁寧に共有し、保護者の皆様と連携しながら支援を行っていきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	5			・送迎時等にいつも伝えていただいているので安心します。 ・いつも色々相談などにのって頂き、ありがとうございます。	今後も相談しやすい環境づくりを心がけ必要に応じて面談の機会も設けたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1		1	・心配などしていただき共感されていて本当に私どもは安心しています。	引き続き、職員間で情報共有を行い安心して通所していただける支援体制を維持していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	7		7	・もっと積極的に設けていただけると嬉しい。 ・きょうだい向けのイベントや交流は今までないと思います。 ・保護者会を定期的に行って欲しい。 ・保護者同士考え方は色々あると思いますが、“情報交換の場”としてあると嬉しいです。	令和7年7月に初めて保護者交流会を開催させていただきました。 ご参加いただいた皆様ありがとうございました。 今後もニーズを踏まえながら、実施の可能性を検討していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		1	・急遽予定が変更になっても、快く受け入れてくれて、助かってます。	引き続き、迅速で丁寧な対応を心がけ安心して相談していただける体制づくりに努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1			・とてもよく情報を下さり安心しています。	引き続き、分かりやすい情報共有に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	3		3	・イベントの時、写真を撮って後日プリントして頂けると嬉しいです。以前はやっていただいていたのですが…。お忙しいと思いますが、復活してくれると嬉しいです。	ホームページには自己評価表の結果やSNSのリンクを掲載しております。 イベントや活動内容、その他情報についてはのご案内はLINEでのご連絡をさせていただいております。 ご意見いただいた写真については、前向きに検討していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	4				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	3		3	・避難訓練など定期的にしていると聞いたので安心しました。	今後も安全管理と訓練を継続し、保護者の皆様への適切な情報共有を行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2		1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	22	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24				・何かあった時には、すぐに連絡をくださるし、丁寧な説明もあるので安心しています。	引き続き、迅速かつ丁寧な連絡・説明に努めます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24				・こどもも職員さんを信頼しているので安心感はあると思います。 ・行き慣れた場所になり安心です。 ・安心感を持っていると思います。	ありがとうございます。 お子様たちが安心して通所できるよう、引き続き、環境づくりと支援の充実に努めます。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24				・とても楽しみにしています。 ・フレンズさんに通うのを、いつも楽しみにしています。 ・とても楽しみにしているようですが、機嫌の悪い時はすみません。 ・週に1回(土曜日)ですが、週末を楽しみに学校も頑張っています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。 これからもお子様たちに楽しんで通所していただくことができるよう、 日々の活動やイベントの計画をしていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				・いつもありがとうございます。 ・いつもあたたかく支援していただき感謝しています。 ・いつも快く受け入れてくれてとても満足しています。	嬉しいお言葉ありがとうございます。 保護者の皆様には日々たくさんのご協力をいただいております。 ありがとうございます。 まだまだ改善すべき点も多々ありますが、皆様の信頼にこたえることができるよう努めていきたいと思います。 今後ともよろしくお願いいたします。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	メリーフィールド坂東

公表日　2026 年 2 月 10 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		マットを敷くことで床座遊びでき、使い終わった椅子や机を収納することでボール遊び等をして体を動かすことができている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	法定人数は必ず配置されている。	専門的スタッフが不足している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		段差のない構造、トイレには手すりを設置している。	男子トイレが少し狭い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		子供たちが帰った後に掃除をし、清潔に努めている。不要なものは収納し広い空間を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室などを使用し、必要に応じて落ち着いて過ごすことのできる、個別スペースとしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		月に1回のミーティング時に話し合いの場を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	集計後全職員に共有し改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に1回のミーティングを行い、その都度記録し改善・振り返りに努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		今後検討していくべき課題。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内では、虐待防止等の義務化されている研修を行い、希望する職員には資質向上の為の外部の研修に参加する機会を設けている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者や学校、関係機関と共有した情報をもとに、本人の様子をみながら、他職員の意見も聞き作成に努めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員全体で情報共有を行っている。 意見交換の機会を増やしていきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7		全職員に共有している。その中で各職員が考えながら支援にあたっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の行動は、その都度記録している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインの支援を踏まえた計画作成に努めている。 具体的な支援内容も継続して、職員全体で検討していきたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各職員が案を出し合い立案している。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		前月と被らないように、各職員が 案を出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別活動(学習・製作・生活スキルの向上) 集団活動(運動遊び・調理・ゲーム)それぞれ 組み合わせて支援するよう努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	各職員出勤時間が異なる為、連絡ノートを 用いて児童の情報を把握することができる よう情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	1	各職員退勤時間が異なる為、その時にいる 職員で話し合いをし、話題に上がったこと を連絡ノートにまとめ職員全員が情報共有 している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		毎日記録しているが、検証・改善は なかなかできない時がある為、改善したい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		最低でも6カ月に1度の見直しを 行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		各職員が活動のねらいを明確化し それを組み合わせて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		遊びの中で選択肢を提示するなどして 練習できる機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者・児童発達支援管理責任者が参画 している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		体制づくりを強化していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校説明会の参加やマチコミの登録、 送迎時担当者と直接話すことにより 情報共有をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	相談支援専門員を通しての情報共有を 行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	相談支援専門員を通しての情報共有を 行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	4		取り入れ、専門的な知識の習得に励み 支援に繋げていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		学童や児童館を利用をしている児童との 交流はしていない。本人・保護者・相談員 さんと慎重な検討が必要だと思っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		機会があれば積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡帳を通して情報共有に努めて いる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	必要に応じて相談対応や情報提供を 行っている。	職員のペアトレ技術等のスキルアップが 必要。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っている。 不明点に関する問い合わせは、迅速に対応 するよう心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者の意向・本人の意向に努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7		その都度説明をし、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		迅速かつ丁寧な対応を心がけている。 引き続き、相談しやすい環境づくりに努めたい。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		令和7年7月に保護者交流会を開催した。 継続して開催できるよう検討したい。	きょうだい同士での交流については検討が必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		職員から管理者へ、その後本社へとの体制を整備している。 苦情があった際には、書類を作成し原因究明に努め、情報の共有を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		連絡ツール(LINE)やSNSを通して活動内容や予定の発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報が鍵付き書庫に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々に応じて分かりやすい伝え方で情報伝達をするよう努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを事務室に掲示し、いつでも確認できるようにしている。 保護者へは契約時に説明をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		非常災害時に備え、定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者から情報を聞き対応に備えている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者への聞き取りで確認している。 アレルギー対応として、リストを作成し、全職員がいつでも確認できるよう掲示している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		定期的な研修に参加し、安全な支援環境を心がけている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7		家族との情報共有を大切に、安心して利用していただけるよう努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		その日のうちに共有し、再発防止に向けた検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		全職員が研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		必要に応じて記載している。	